

# 自民 骨太の方針案了承見送り

## 安倍氏ら 防衛費で反発

### 「GDP比2% 反映ない」

自民党は三日の政調全体会議で、政府の経済財政運営の指針「骨太の方針」案の了承を見送った。防衛費に関する記述を巡り、五年以内に対国内総生産（GDP）比2%以上への引き上げを目指すとした党提言が反映されていないと批判が相次いだため。ロシアのウクライナ侵攻を受け、自民党内では増額圧力が強まっている。

相ら保守派を中心に不満が出ていた。三日の会議では、政府が修正案を提示。原案の「防衛力を抜本的に強化する」という部分に「五年以内に」を挿入し、期間を明確化した。さらに、欧米の軍事同盟・北大西洋条約機構（NATO）加盟国が掲げる国防費の対GDP比2%目標を紹介する記述も本文に盛り込まれた。

骨太の方針は来年度予算編成を含む政権運営の土台となる。岸田文雄首相が先の日米首脳会談で「相当な増額」を表明した防衛費を巡り、どこまで踏み込んだ記述になるかが焦点だったが、先月三十一日公表の原案には具体的な水準などが明記されず、安倍晋三元首

これに対し、出席者からは対GDP比2%目標が明確になっていないなどと反発の声上がり、政府に修正を求めた。六日に再度、会議を開く。

党内では安倍氏のほか、茂木敏充幹事長や高市早苗政調会長ら執行部も大幅増を訴えている。安倍氏らの主張に賛同する中堅議員は「今の書きぶりでは岸田政権への期待もさばむ。徹底的に戦う」と語った。

ただ、防衛費増額について、公明党は「数字ありきではない」（北側一雄副代表）と自民党と一線を画す。政府は七日に閣議決定したい考えだが、公明党の了承も欠かせないだけに、与党間の調整が難航する可能性もある。

自民党内で高まる防衛費増額を求める声

茂木幹事長



来年度予算で6兆円台半ばを確保し、5年以内に対GDP比2%を念頭に、防衛力を抜本的に強化できる水準を目指したい（4月26日の茂木派パーティーで）

高市政調会長



必要な費用を積み上げると対GDP比は2%を超えていく。日本はロシア、中国、北朝鮮に三方を囲まれた「世界有数の核兵器の最前線」。国防力を抜本的に強化していくべき時だ（5月12日付のコラムで）

安倍元首相



対GDP比目標2%以上を念頭に5年以内に必要な予算水準達成を目指す、骨太（の方針）に書くべきではないか。目安と期限を明記して国家意思を示していく（6月2日の安倍派会合で）